

開講年次・時期	1年後期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	介護過程Ⅱ	担当者名	棟方 ナナ子(実務家教員)
授業の概要	介護過程が個別ニーズを把握し、計画的に実践・評価していく科学的な問題解決方法であることを理解する。介護過程の一連の展開方法を身につける。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と技術を統合し介護過程を展開できる能力を身につける ・多職種協働と連携を理解する 				
DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習はそれぞれ1時間程度すること。				
フィードバックの方法	試験、小テスト、提出物の結果を返却する。				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。課題試験で合格基準を満たすこと。授業への取り組みや小テストで定められた基準を満たすことが単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	試験60% 小テスト10% 提出物20% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			アセスメント1用紙を理解する	①②⑥⑦	コミュニケーションカード
2			アセスメント2用紙を理解する	①②⑥⑦	コミュニケーションカード小テスト
3			「介護計画の立案」	①②⑥⑦	コミュニケーションカード
4			社会資源活用方法を理解する	①②⑥⑦	コミュニケーションカード
5			「介護支援の実施」	①②⑥⑦	コミュニケーションカード
6			利用者と家族の関係を理解する	①②⑥⑦	コミュニケーションカード・
7			「評価」	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
8			記録方法を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
9			ICF視点を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード小テスト
10			不足情報を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
11			「介護過程の実践的展開」	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
12			生活環境の変化と課題を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
13			アセスメント3用紙を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード小テスト
14			病気と介護計画の関係性を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
15			「介護過程展開の実際」	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード・
16			障害と介護計画の関係性を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
17			アセスメント4用紙を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード小テスト
18			行動制限やリスクを理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
19			アセスメント4用紙を実践する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
20			モニタリングの注意事項を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
21			課題 アセスメント1用紙を作成する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
22			アセスメント1用紙を確認する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
23			課題 アセスメント2用紙を作成する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
24			アセスメント2用紙を確認する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
25			「介護過程とケアマネジメントの関係性」	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
26			多職種協働と介護過程の関係性を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
27			課題 アセスメント3用紙を作成する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
28			アセスメント3用紙を確認する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
29			「チームアプローチにおける介護福祉士の役割」	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード
30			チームアプローチと介護過程展開方法を理解する	①②③④⑤⑥⑦	コミュニケーションカード・レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第9巻「介護過程」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--